

可能な時は、校長室の扉を開けっ放しにしてある。真上に音楽室があり、歌やリコーダー、鑑賞曲が聞こえてくること以外は、授業中は静か▼ノーチャ임週間は終わってしまったが、休み時間になると、どこからともなくワイワイガヤガヤバタバタと聞こえてくる。ノーチャ임週間の時は、その様子で、子ども達のオン・オフが分かったが、チャ임が復活してからは、先にチャ임ありきになってしまった▼結果は同じだけれども認知の順番というのは、感情を左右する。先日まで教育実習に来て下さっていた先生に、2年生が大きなサプライズを演出してお別れの会を行った。構想2週間、3日前から仕込みを始めて、いざ本番▼内容は全く知らないが、「テッテレー♪」的な演出だったのではないかと思う。大成功だったようだ。大根役者もデビューしたと聞く▼校長室の扉を開けていると、子どもが覗いてくれることがある。パソコンのモニター越しにドアを覗くと、会釈をしてくれたり、あいさつをしてくれる子もいる▼昨日の下校時刻、わざわざ校長室を覗き、「校長先生さようなら」と言いに来てくれた子が、2人いた。3年生と2年生の子だったと思う。これまでも校長室の前を通り過ぎる時にあいさつをしてくれる1年生は何人もいたが、ドアの前に立って、あいさつをしてくれたのは、初めて。プチサプライズだった。